

日々輝便り



日々輝学園高等学校神奈川校
学校便り NO. 8
令和2年11月2日
校長 桑山 光生

秋の気配が少しずつ近づいてきました

今年度も、早や11月を迎えることになりました。年が明けてすぐから、コロナの騒ぎで振り回されてきて、何かいつもより早く一年が過ぎようとしているように感じます。11月は霜月ともいわれますが、その名の通り、ここ最近では寒いと感じる日も多くなってきました。寒さが増し、乾燥した日々が続くと、インフルエンザも心配されるようになります。コロナ対策ですでにマスクの着用や手洗いの励行をしていますので、例年ほど流行しない可能性もあるとは思いますが、それでも症状が出ると、どちらなのかという不安も含めて厄介なことになると思いますので、インフルエンザ、コロナウィルス併せた感染症対策を継続して油断なく行なっていきましょう。



さて、輝跡祭とスポーツ大会に挟まれた11月は、学習面での一つの区切りとして、これまでの成果を示さなくてはならない時期です。中旬に予定されている期末試験に向けて準備を怠らず、みなさんの力を十分に発揮してほしいと思います。また、3年生は進路を具体化し決定していく時期、2年生は進路について向き合っていくべき時期、そして、1年生は来年度のコース選択を考えていく時期と、それぞれにテーマがある時期ともいえます。後悔しないようしっかり考え、心配な点やわからないことは担任や学年の先生方に相談し、ご家族ともよく話し合いつつ、自分らしい方向性を見出していきましょう。

「一人ひとりを認め、学びあい、夢を拓げる学校」をめざして

神奈川校では、「人は誰もがかけがえない大切な存在であり、そうした一人ひとりを認めあい、尊重しあって、安心して楽しく学びあうことができ、それぞれの夢の可能性を拓けていける学校」をめざしています。

◆オンライン公開による輝跡祭、その出来栄は？

10月17日開催予定の輝跡祭でしたが、コロナウィルスへの対応のため、初めてオンラインでの映像による公開という形になりました。生徒のみなさん、いかがだったでしょうか。急な変更や前例がなくイメージを作るところから大変な中、発表されたものは、どのクラスも高校生らしいとても良い作品に仕上がっていたと私は思っています。神奈川校では、「SDGs（持続可能な開発目標）」を基本テーマに据えて学園祭を実施していますが、各学年ごとのテーマも踏まえ、昨年以上にSDGsを意識したすぐれたものが多かったと思いますし、映像も手作り感が満載で、アイデアが光るものや、何度も撮り直しをしたり、練習したのだらうと思われる苦労の後がうかがえるものなど、とても楽しく見ることができました。また、初めての試みでこれだけみなさんが頑張ってくれたおかげで、これからの学園祭に向けた貴重なサジェスションとなったと思いますし、今年のスローガンである「創ろう ～新しい輝跡のかたち～」にも、見事にマッチした内容だったといえると思います。なお、11月初旬からは、ダイジェスト版に形を変えてHP上に掲載されますので、そちらの方も、時間があるときにぜひ見てほしいと思います。

最後に、生徒のみなさん、指導に当たられた先生方、本当にお疲れさまでした。そして、保護者の皆様をはじめ、協力し、支えてくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

♥ ちょっといい話(みんなのいいところ見つけよう！)

◇看板作成で

輝跡祭の準備中、図書委員会の役員生徒で看板作成をしていた時、柏木さん(1A)は、自分から手伝うことはないかと聞きに来てくれて、先輩たちに確認をしながら、その日一日一緒に作業をして動いてくれました。1年生ながら素晴らしい活躍でした。

◇やさしい気持ち

小田君(3A)が連休中に旅行に行ったお土産を配っていた。放課後、新川さん(3A)が、立ち話をしている野口さん(3A)のところに来て、「さっき配っている時なかったよね。」と言って、もらったお土産を野口さんに渡していた。新川さんのやさしい気持ちに感謝しました。

◇動画編集で

3Aでは、動画編集を小田君と橋谷君で行っていました。二人がそれぞれ編集し、良いところを組み合わせて作っていましたが、橋谷君は、せっかくだからと、クラスのためにオリジナルの動画を作って、さらに良いものに仕上げてくださいました。

